

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	岩手県	事業実施主体	岩手県、岩泉町	地域再生計画名	岩泉西部地域の林業振興による地域活性化計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	岩手県農林水産部森林保全課総括課長、岩泉町地域整備課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度		指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	林業新規就業者数の増加	—	—	12人	H30	6人(H29)	25人	R2	×	3	1	地方創生推進交付金事業（いわての次世代林業・木材産業育成プロジェクト事業）における林業人材の確保・育成に関する取組との相乗効果により、新規就業者数は増加傾向にあるものの、中間実績は中間目標値を6人下回ったことから、最終目標の達成に向け、交付金事業による道路網の整備と木材生産性の向上等に資するソフト事業の連携により推進していく。
	指標2	素材生産量の増加	74,000 m³/年	H24～H26平均	77,500 m³/年	H30	72,734 m³/年(H29)	81,000 m³/年	R2	△			平成28年台風第10号の豪雨により、既設林道施設の路肩決壊や路体流出などの甚大な被害が生じたため、車両通行が不可能となり、木材の搬出が困難な状況であることから、中間目標値を下回った。今後は、被災した林道施設の早期復旧を図り、最終目標値の達成を目指していく。
	指標3	高性能林業機械保有台数の増加	26台	H26	28台	H30	49台(H29)	31台	R2	○			既に最終目標値を達成している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
	指標2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度(R1)	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	林道整備事業（整備延長）		4.2km	0.6km	4.2km	平成28年台風第10号の豪雨により、地域再生計画に掲載している3路線中2路線の既設区間が被災したことから、当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は約14%と、事業の進捗に遅れが生じている。今後は、事業の完了に向けて計画的に整備を進めていく。							
	町道整備事業（整備延長）		0.4km	0.0km	0.4km	平成28年台風第10号により被害を受けた公共土木施設（町道・河川）や林道施設の災害復旧工事を優先して行っていることから、事業着手が困難な状況となっている。今後は、事業の完了に向けて地域再生計画の期間を延長することを検討している。							
その他の事業	いわての次世代林業・木材産業育成プロジェクト事業		林業に関する知識・技術を体系的に習得する長期研修の施設整備や運営、木材の販路拡大に向けた技術力向上研修などの実施			地方創生推進交付金の活用により、平成29年度に林業人材を育成する「林業アカデミー」を開講したことにより、県内の新規就業者は近年増加傾向にあり、平成29年度までに修了した33名全員が林業事業者等に就職している（うち岩泉町への林業新規就業者は1人）。							
	高性能林業機械化促進事業		町単独事業による林業事業者に対する高性能林業機械導入経費の補助			伐木・造材・搬出などの作業コストの軽減を図るため、林業事業者に高性能林業機械の導入に要する経費を補助している。（H28…10事業体 H29・H30…実績なし（平成28年台風第10号の影響のため））							
	木材流通拠点整備事業		地域木材商社の設立			素材生産者や製材加工業者、工務店・家具製造者など、町内の川上から川下までのプレイヤーを中心とした「岩泉の明日の林業をつくる会」において、勉強会やイベント等を開催し、地域内水平連携の基礎固めを行うとともに、地域木材商社機能などを担う（株）岩泉フォレストマーケティングを設立した。							
	木質バイオマスストーブ設置事業		薪ストーブ購入費等の補助			薪ストーブや煙突の購入・設置費用を補助する事業であるが、平成28年台風第10号により被災したため、災害復旧に多大な町の予算を要したことから、事業の実施に至っていない。今後は早期に事業を実施できるよう予算の確保に努めていく。							
	森林後継者育成事業		森林後継者の育成支援			Iターン者を復興支援員や地域おこし協力隊として受け入れ、森林整備と木材利用の両面から地域林業を振興するための体制や仕組みをつくること等に関するコーディネートを行っている。							
	森の日事業		森を守り伝えていくための植樹祭の開催			水系の環境と沿岸の環境の維持・保全意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から毎年実施している（大災害のあった時期を除く）。							
計画外で独自に実施した事業													
④評価方法	学識経験者2名から意見を聴取した上で評価・検討等を行った。												
⑤中間評価の公表方法	岩手県及び岩泉町のホームページに掲載												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、町道と林道を一体的に整備し、主要幹線となる国道と、その支線となる町道・林道を含む道路ネットワークの整備により、物流・生産コストの縮減や森林資源の積極的な利用を図り、林業における雇用の創出や地域住民の居住環境の改善、所得の向上、地域の活性化・再生を目指すこととしている。 指標1の林業新規就業者数及び指標2の素材生産量について、既設林道が平成28年台風第10号による豪雨被害を受け、木材搬出等が困難となったため、中間目標値には到達していないが、今後は地域再生計画の最終目標の達成に向けて、被害を受けた林道の復旧工事や交付金事業による道路整備を推進していく。												
⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					町道整備について、平成28年台風第10号の影響により、事業の進捗に遅れが生じていることから、中間評価の結果を踏まえ、事業期間を2年延長する。							
	令和2年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 一千万円					林道整備事業については、3路線のうち1路線の整備が完了したことから、残りの2路線への予算の重点配分を図り、事業を推進していく。 また、町道整備事業については、平成28年台風第10号関係の災害復旧工事の影響により、事業の着手が令和2年度となる見込みであることから、事業期間を2年延長する。							
⑧今後の方針等に対する対応	事業期間を延長するための変更認定申請を行う予定。												